

キャラクター名
千子 村正(せんご むらまさ)

プレイヤー名

シンドローム	エンジェルハイロウ		ワークス	レネゲイドビーイングB	カヴァー	エージェント?
	モルフェウス			年齢	19歳(外見)	性別
オプション	覚醒	生誕	衝動	殺戮	初期侵食率	40 %
出自	孤独な魂		経験	捕縛対象	邂逅	好敵手

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	23
肉体	1	0	0			1	行動値	13
感覚	5	1	0			6	(非装備時)	13
精神	1	0	0			1	戦闘移動	18
社会	1	0	0			1	全力移動	36

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	10		射撃	1		RC			交渉		
回避			知覚			意志	1		調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
情報収集チーム	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費
錬金術師	P	N		
山田餓狼丸	P 庇護	N 猜疑心		
理解者	P 信頼	N 隔意		
研究者	P 感服	N 不快感		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 2 残り財産P: 2

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
ヒューマンズネイバー	1	-	常時	至近	自身	-	RB	
効果: 自身の行う【衝動判定】を[+Lv]する。このエフェクトは侵食率でレベルアップしない。基本侵食率+5。								
オリジン:ヒューマン	4	2	マイナー	至近	自身	-	RB	
効果: シーン間、あらゆる達成値を[+Lv]する。								
光芒の疾走	1	1	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: 戦闘移動を行う。1シーンLv回まで。他エンゲージの接触や、封鎖の影響を受けない。								
インフィニティウェポン	1	5	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: 攻撃力+[Lv+7]。錬金術師(D): 攻撃力+5								
陽炎の衣	3	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: 隠密状態になる。シーン中Lv回まで。								
光の舞踏	1	2	メジャー/リアクション	武器	-	-	-	
効果: 【感覚】で判定を行う。								
コンセントレイト:エンジェルハイロウ	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果: C値-Lv(下限値-7)。								
見えざる死神	3	2	メジャー	-	武器	対決	-	
効果: 判定のダイス+1、攻撃力を[Lv*3]。隠密状態のみ使用可。								
ペネトレイト	1	3	メジャー	-	-	対決	-	
効果: 装甲値無視。判定のダイスが-1される。								
スプリットアタック	2	4	メジャー	-	Lv+1体	対決	80	
効果: 攻撃の対象を[Lv+1]体に変更する。1シーン1回まで。								
天使の外套	1							
効果: 自身の外見を変化させる。								
テクスチャーチェンジ	1							
効果: アイテムの外見を変化させる。								
真昼の星	1							
効果: 視界を拡大できる。								

かつて妖刀『村正』を打ったとされる刀工…の逸話が具現化したレネゲイドビーイング。
 普段は茶髪に整った顔立ちをしているが、その姿は自由自在に変化可能。
 呪われた刀として知られているため、恐れられることが大半であるものの、本人は飄々とした振る舞いをする一方でいたずら好きな性格をしている。
 真意が掴みづらいため、彼と初めて対面した場合はギャップに面喰うことも多いだろう。
 誕生した時から自身の素性を理解しており、妖刀を生み出した歴史を持つためにあらゆる研究者やその力を求める輩から追われ続けた過去を持つ。
 基本的には、好奇心も旺盛で「恐れるも寄ってくるも好きにしたい」というスタンスでいるが、欲望のために自身の力を求めたり調べようとする人物に対しては辟易し、冷たい態度で応じることも。
 好奇の目にさらされることも多々あるが、膨大な時間をかけても彼本人のことはわからないままだろう。
 あくまで彼は村正のレネゲイドビーイングなのだから。
 「妖刀村正って知ってるだろ？」
 「Boo! はは、驚いたか？」

戦闘では、敵に気づかれないよう気配を殺し、死角から斬撃を放つ攻撃を得意とする。
 これまでの振る舞いは鳴りを潜め、弾猛さをむき出しにする様はさながら獣のよう。
 もしかしらこの姿が、本当の彼なのだろうか？